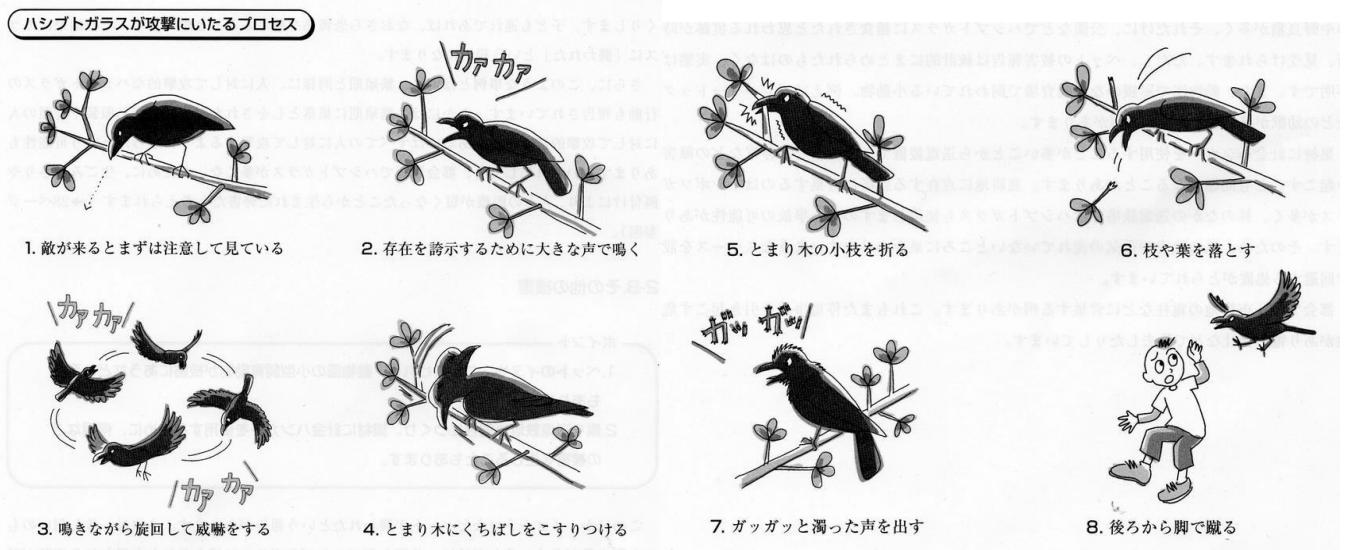


カラスの「警告」を察知する

- ・カラスの威嚇行動は、そのほとんどが巣や幼鳥から人を遠ざけることが目的です。
- ・人に接近することはカラスにとってもリスクが高いため、人の頭を蹴るなど直接的な行動をとる前に、様々な方法で「警告」を発しています。それらに気付くことができれば、その場を迂回するなどの対策をとることができます。



(ハシブトガラスが攻撃にいたるプロセス)

1. 敵（対象）が来るとまずは注意して見ている。
2. 自身の存在を誇示するために大きな声で鳴く。
3. 敵（対象）の頭上を鳴きながら旋回して威嚇する。
4. とまり木にくちばしをこすりつける。
5. とまり木の小枝を折る。
6. 枝や葉を落とす。
7. ガックガックと鳴った声を出す。
8. 後ろから脚で蹴る。

カラスの「威嚇」をやり過ごす



- ・カラスが人を威嚇するときは、必ず後方から飛来します。
- ・攻撃は一瞬の出来事で、頭部を脚で蹴って飛び去ります。
- ・クチバシごと飛び込んで来る肩に止まって何度もつつくことはありません。



- ・威嚇が激しい場所では、傘をさすと効果的です（帽子も可）
- ・カラスは後頭部を隠されると、狙う場所を見失います。
- ・片腕を真上に上げることでも、同様の効果が得られます。

（補足）翼が腕に当たるのを嫌うためです。

（資料出典：北海道旭川市ＨＰ）